

## 平成23年度 第3回 人間文化研究機構経営協議会議事概要

○日 時 : 平成24年3月14日(水) 13:30～15:30

○場 所 : 自然科学研究機構及び情報・システム研究機構合同会議室

○出席者 : 金田機構長、石上、猪木、今西、岩男、大原、小野、影山、栗城、栄原、高村、立本、中尾、平川、平田、藤井、宮崎の各委員

○陪席者 : 大崎機構長特別顧問、広渡監事、駒形監事、歴博管理部長、国文研管理部長、国語研管理部長、日文研管理部長、地球研管理部長、民博管理部長、事務局総務課長、同企画課長、同財務課長、同施設課長、同企画課課長補佐、同財務課財務係長

○概 要 :

議事に先立ち、事務局から、本会議開催にあたり定足数を満たしている旨の報告があった後、配付資料の確認がなされた。

(前回議事概要)

機構長から、前回経営協議会議事概要(資料1)について、議事概要署名人のご確認をいただいたことが報告され、本協議会の同意を得た。

また、今回経営協議会議事概要について、平川委員、栄原委員が議事概要署名人に選出された。

(報告事項)

### 2. 平成24年度政府予算案について

機構長から、審議事項1. に先立ち、関連事項として報告事項2. を取扱う旨の説明があり、中尾理事から、資料9に基づき、国立大学法人運営費交付金等の概要、本機構の平成24年度予算内示の概要について、一般経費が大学改革促進係数により△1%とされたこと及び特別経費について総合地球環境学研究所の新規事業が計上されたことなどが報告された。

(審議事項)

### 1. 平成24年度人間文化研究機構予算編成方針等について

中尾理事から、資料2に基づき、平成24年度予算編成方針及び平成24年度当初予算

配分（案）については、政府予算原案内示に基づき例年に準じて作成している旨の説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、猪木委員から、一般運営費交付金の削減等の厳しい財政状況下における機構長裁量経費のあり方について意見があり、平成25年度予算における機構長裁量経費については、機構長のリーダーシップのもとで法人としての一体的な運営を推進するという機構長裁量経費の主旨を踏まえつつ検討することとなった。

## 2. 平成24年度資金管理計画について

事務局から、資料3に基づき、平成24年度資金管理計画（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

### （報告事項）

#### 1. 平成23年度監査活動概要について

広渡監事から、審議事項3. に先立ち、関連事項として報告事項1. の報告を行いたい旨の説明があり、資料8に基づき、平成23年度監査においては、重大な指摘事項は発見されなかったこと、各機関の研究者コミュニティー及び社会におけるプレゼンスについては高い成果をあげていると認められたことなどが報告された。

### （審議事項）

#### 3. 平成24年度監事監査計画について

広渡監事から、資料4に基づき、平成24年度監事監査については、昨年度の結果を踏まえ、重点項目として機構本部と各機関のガバナンスにおける関係についての監査を行うことなどの説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

#### 4. 平成24事業年度における会計監査人候補者の選任について

事務局から、資料5に基づき、平成24事業年度における会計監査人候補者の選任について（案）について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

#### 5. 平成24年度「年度計画」について

中尾理事から、資料6に基づき、地域研究の推進において各地域研究の間の連携を試みること、特別経費新規事業の計上を踏まえ地球環境学リポジトリの構築について記載をしたことなど平成24年度「年度計画」の概要について説明があった。

宮崎委員から、平成22事業年度評価での指摘事項に係る平成24年度「年度計画」への反映について質問があり、機構長から、平成23年度中に対応済みであり平成24年度「年度計画」には特段の記載はしていない旨の説明があった。

審議の結果、意見等がある場合は3月16日までに連絡をいただいた上、3月21日開催の役員会で決定し、文部科学省に届出することが了承された。

## 6. 給与改定について

事務局から、資料7に基づき、国家公務員の給与改定及び臨時特例に関する法律の概要、主務官庁から役職員の給与について必要な措置を講ずるよう要請があったこと、本機構の給与改定方針（案）について説明があった。

機構長から、現在、各機関の過半数代表者への説明を行っているところであり、また、人事交流者について交流元機関との対応の相異が生じた場合の取扱について検討を要する状況ではあるが、4月1日から給与改定方針（案）のとおり実施予定である旨の説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、機構長から、削減分の適正な使用に係る要望を、国立大学協会等との関係を考慮の上、主務官庁など関係機関へ送付することを検討している旨の説明があった。

### （報告事項）

## 3. 総合研究推進委員会の取組について

中尾理事から、資料10に基づき、これまでの総合研究推進委員会の取組の概要及び今後は、機構として、タスク・フォース報告書などを踏まえて、将来発展していくための課題や改善点に対する対応方針を取りまとめ、その結果を総合研究推進委員会において検討する予定であることなどの報告があった。

本機構の主要会議のあり方や機構本部の役割の再確認の必要性などについて意見交換が行われた。

## 4. 日本研究功労賞の授賞式について

機構長から、資料11に基づき、1月11日に日本学士院で第1回人間文化研究機構日本研究功労賞授賞式を開催したこと、第2回の選考に向けて各機関へ候補者の推薦を依頼したことの報告があった。

## 5. 機構長懇談会における検討課題について

機構長から、資料12に基づき、10月から12月にかけて機構長と各機関の研究者との懇談（意見交換）会を行ったこと及び全機関に共通する四つの検討課題とその対応の概要について報告があった。

## 6. 大学共同利用機関の役割と更なる機能強化に向けて

機構長から、資料13に基づき、附属資料を加えた冊子を作成したこと、大学共同利用機関の更なる機能強化に向けては、これまでの研究者コミュニティのニーズへの対応に加え、今後は大学等との組織的関係の拡充強化の重要性が増しているなどの報告があった。あわせて、機構長から、機構長会議や機能強化ワーキンググループにおいて、中間まとめの中で示したことの具体的取組方策について検討しているところであり、本日以降でもご

意見賜りたい旨の発言があった。

(その他)

1. 役員就任予定者について

機構長から、資料14に基づき、平成24年度の役員体制について説明があった。

2. 機関の長の異動について

機構長から、資料15に基づき、3月31日をもって平川国立歴史民俗博物館長及び猪木国際日本文化研究センター所長が任期満了となり、4月1日をもって平川館長は再任、猪木所長は退任し小松所長が就任する旨の説明があり、猪木委員から退任の挨拶があった。

3. 平成24年度経営協議会開催日程について

機構長から、平成24年度経営協議会について、

第1回 平成24年 6月20日 13:30～

第2回 平成24年11月14日 13:30～

第3回 平成25年 3月21日 13:30～

の開催予定であるとの説明があった。

【配付資料】

資料 1：平成23年度第2回人間文化研究機構経営協議会議事概要

資料 2：平成24年度人間文化研究機構予算編成方針及び平成24年度当初予算配分(案)

資料 3：平成24年度資金管理計画(案)

資料 4：平成24年度監事監査計画書

資料 5：平成24事業年度における会計監査人候補者の選任について(案)

資料 6：人間文化研究機構平成24年度計画(案)

資料 7-1：国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の概要

資料 7-2：独立行政法人における役職員の給与の見直しについて

資料 7-3：給与改定方針(案)

資料 8：平成23年度監査活動概要書

資料 9：平成24年度国立大学法人運営費交付金等の概要

資料10-1：人間文化研究機構総合研究推進委員会(平成23年度第1回)議事録

資料10-2：人間文化研究機構総合研究推進委員会(平成23年度第2回)議事要旨

資料11：日本研究功労賞受賞記念講演－国境のない日本の近世－(チラシ)

文教ニュース(平成24年1月30日)、文教速報(平成24年2月3日)記事

資料12：機構長懇談会における検討課題

資料13：大学共同利用機関の役割と更なる機能強化に向けて(中間まとめ)[要旨]

大学共同利用機関の役割と更なる機能強化に向けて－中間まとめ及び附属資料－

資料14：人間文化研究機構理事・監事一覧

資料15：機関の長の異動について

【参 考】

- 経営協議会委員名簿
- 活動報告及び活動予定
- HUMAN

以上、この経営協議会議事概要を確認し、以下に署名捺印する。

平成24年3月14日

署名人 委 員

平 川 南

署名人 委 員

栄 原 永遠男